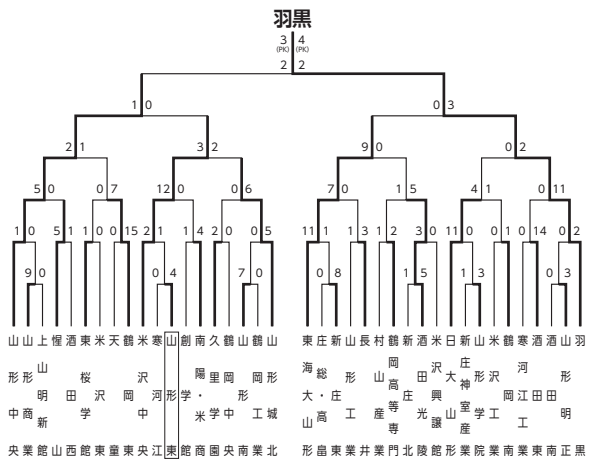


力及ばず2回戦敗退

10月からの選手権県大会、今年は一度引退した3年生GKにベンチ入りしてもらおう。初戦は寒河江高校。「我々は力がないのだから、守備から試合の流れを作ろう」と呼びかけ合う山東。その意識が効を奏し、相手の攻撃を寸断し優位に試合を進め、しつかり得点も取ることができ、4対0の完勝。2回戦の相手は、またしても米沢中央。試合は、圧倒的にボールを保持されるも、山東俊足FWによる「相手を呼び込んでの「発裏」の攻撃がさく裂し、周囲を驚かす山東の先制点が決まる。後は粘り強く戦い相手の焦りを誘う時間を長く過ごしたかったが、前半のうちに同点ゴールを許してしまい、前半1対1。後半も耐える時間が長く、素晴らしい集中でよく頑張ったが、またしても後半にPKを与えてしまふ。「疑惑のPKでは」との感想も



あったが、そういうレフェリングの偶然も勝負の一つ。逆転を許し、その後、サブGKとしてベンチ入りしてもらった3年生をFPで出場させ、追い上げたものの、相手ゴールは遠かった。結局1対2の敗戦。3年生もいた県総体のスコアが0対2なので、新人チームでの1対2のスコアは「よく頑張った」との評価となるが、勝利に値する戦いという点では、県総体での戦いに遠く及ばなかった。新人チーム、可能性があるが、まだまだ力不足。「来年の県総体まで、今シーズンの悔しい気持ち、先輩方の悔しい気持ちを晴らすべく、しつかりトレーニングを積みみたい」とは2年佐竹主将の言葉。1部リーグ所属のチーム相手に、アツプセット、ジャイアントキリングを狙うだけではなく、来春までに実力的にも同等以上を目指してもらいたい。(今野監督・山東43回)



第41回山東サッカー部納会

12月12日(月)市内の中島商店にて3年ぶりにサッカー部恒例の納会が開かれました。後援会が現役生を招きすぎ焼きを振舞いながら、優秀選手に賞を贈り1年間の活動を労いつつ、翌年に向けて(3年生は受験に向けて)激励する会です。コロナ禍でしばらくすぎ焼きナシの納会となっていましたので、今年度の3年生はこのすぎ焼きの会は初体験でした。2022年の優秀選手は、以下の5名が選ばれました。

以下、受賞した選手の紹介です。

野口 凌：1年次から試合に出続けた。サッカーインテリジェンス、ボールを隠す運び方、ここは抑えないといけないという急所を見抜く力、体を当ててボールを奪ったり逃げずに正面から力で行ったりする球際の理解と、ボランチに必要な多くの能力を持ち合わせており、山東サッカー部生活でも能力を伸ばし続けた。ぜひ大学生活でも大きな選手になって欲しい。ピッチ内外で実際に他の選手を動かすことのできた人間であり、そのリーダーシップの今後に期待したい。

四釜寛大：当初よりクロス対応等いかにもCBらしいプレーができ、その後の成長と活躍が予想されたが、1年途中から持病の腰痛が悩まされ、2年次はほぼピッチに立って地道なリハビリを続け、陰から部員の活動を支えた。その甲斐あって、3年次には頼れるCBとして活躍し、右足での正確なフィードにより何点もアシストを決めた。彼の苦勞を知る者にとって、彼の活躍は感動以外の何物でもなかった。彼の高校サッカー生活に最大級の賛辞を送りたい。

富樫奏太：サッカー未経験ではあったが、スピードがあり球も捌けるので、相手の裏

抜けにも最後には間に合ってくれて、シュートに足を当ててくれる頼りがいのあるCBとして活躍。2年次途中から攻撃力を買われCFにコンバートすると、今度は裏抜けが得意なFWとして得点を量産。3年次のリーグ戦では、最終節までやっけないがリーグ得点王となった。佐竹コーチが監督をしている山大医学部チームでぜひ大暴れしてもらいたい。

大沼俊介：中学からボランチ、アンカーとしてプレーし、高校でも同じポジションでチームを動かした。上背がないことを言い訳にせず、ヘディングの意識も高まり、ボランチとして安定して跳ね返すのはもちろんとして、CKにてヘディングシュートを決めた。ミドルシュートの意識も芽生え、3年次は積極的に狙った。野口とのボランチ間の関係はよく、山東のサッカーの質を高めることに貢献した。

佐藤壮悟：キックとヘディングに優れ、当初はCBやボランチなどボールを跳ね返したり配球したりするポジションを務めたが、1年の途中から学年にGKがいなかったのと、器用さがあったこと、そして走りに欠けることから、顧問よりGKへの転向を命じられると、水を得た魚のように素晴らしいGKへと成長した。また部長としてチームを明るくまとめ上げた。物事を前向きにとらえ、仲間と協力しながら課題を解決する力があり、将来どんな道に進んでも楽しみな人間である。



若手OBOGの参加が増えてきた サッカーフェスティバル!

8月6日(土)は、8月第一土曜日恒例の、山東サッカーフェスティバルを開催しました。コロナ禍の余韻が残る雰囲気からか、さほど多くの参加はありませんでしたが、上は山東35回の齋藤さん、下は大学1年生の72回の福田さんまで、幅広くプレー&応援していました。43回卒の今野監督は早朝ランニングの成果を発揮し(?) 昨年よりも走れている印象で、アシストも決めていました。また今回も親子共演で盛り上がる場面があったり、テントでは諸先輩方

がワールドカップのお話をされていたり、OGの参加が増えてにぎやかになったり、様子が年々変わってきています。まだご参加されたことのない方は、まずは見学からでも大丈夫ですし(テントで誰と同期? ポジションどこ? 今はどこに住んでいるの? 等質問攻めに合うかもしれません)、OBOGに限らずお子さんやご兄弟と一緒にプレーされても大丈夫ですので、ぜひ今年にご参加ください! 最近はお嬢さんがプレーヤーとしてお父さんと一緒に参加し

ていたり、小学生でも怖がらずにOBチームでプレーしていたり、彼女やご家族を連れて参加される方がいたり、とても自由で楽しい雰囲気です。プレー後には、今年もシーロムさん(山東23回卒野球部キャプテン佐藤さんがオーナーのお店です)のタイ風肉団子スープを食べ、武田庄二商店さん(故武田会長の息子さん、そして山東59回の武田さんのお父さんに毎度お世話になっています)からご用意いただくドリンクを飲みながら、諸先輩からの激励のスピーチ、3年生の決意表明、2年生主将の抱負のスピーチと、団欒の時間を過ご

しました。今回もまた、山東サッカー部は巣立つ場であり帰ってくる場でもある。ことを実感しました。
(山東45回 岡部愛)





サッカーフェスティバル

参加者（敬称略）

- 奥山 孝雄（山東9回）
- 後藤 芳郎（山東19回）
- 岸 慎一（山東21回）
- 丹野 善将（山東33回）
- 斎藤 一郎（山東35回）
- 鴨田 直樹、庄司 卓、橋本 憲二（山東42回）
- 会田 一洋、今野 誉康、佐竹 寛史（山東43回）
- 斎藤 丈彦、佐藤 剛（山東44回）
- 谷川 智行、岡部 愛（山東45回）
- 澤口 涼、高橋 孝典（山東46回）
- 伊藤 陽介（山東47回）
- 伊藤 英樹（山東55回）
- 大場 一哲、黒田 薫、後藤 泰治、平 遼、武田 大伸（山東59回）
- 大久保升誉（山東61回）
- 小松 眞峰（山東62回）
- 堀込 健斗（山東63回）
- 佐藤 海都（山東68回）
- 中野 颯人、森谷 僚介（山東71回）

他多数の皆様にお越しいただきました。ありがとうございます。当日OGがたくさんいたのに名簿にいないのはなぜ？今年8月5日（土）（8月第1土曜日）に開催予定です！

今年度の体育部OB会（開催される場合）は、2024年2月2日（木）（日付固定）山形グランドホテルで開催予定となります。開催情報については事務局次長・佐藤剛（山東44回）takeshi-sato@macatv.ne.jpより配信していますが、メールが届かないという方は事前に佐藤までご連絡ください。メーリングリストに登録させていただきます。

体育部OB会総会・懇親会

第66回体育部OB会総会・懇親会が2月2日、山形グランドホテルで開かれ、第57回OB会功労賞受賞者としてサッカー部から桂木宣均君（山東29回・昭和54年卒）と佐藤啓君（山東30回・昭和55年卒）に賞状とメダルが授与された。

長引くコロナ禍で休止が続いた総会・懇親会は今年、3年ぶりの開催となったが、蔓延防止を考慮し各部2人と受賞者に参加を限定。サッカー部からは岸慎一会長、寒河江努副会長と桂木、佐藤の両君が出席した。サーブ付きの着席スタイルで進む会場は総勢70人ほどのOBと教職員のみで現役生徒の姿はなく、例年に比べて寂しい印象は否めない。それでも肅々と進んだプログラムの中で壇上に立った桂木、佐藤の両君は荣誉にはにか



みつつ「今後も山東サッカー部後援会の発展に力を尽くす」と意欲を語ってくれた。今年の幹事は卓球部とソフトテニス部が務め、次期幹事のバスケットボール部、バドミントン部に引き継いだ。次回からはほぼ例年通りの開催が期待されている。（山東25回 寒河江 努）

山東29回卒・桂木宣均です。令和5年2月2日開催の山形東高校体育部OB会総会において、光栄にも功労賞を受賞いたしました。岸会長をはじめとするサッカー部OB会の皆様のご指導のおかげと心より感謝申し上げます。

弊社（日本地下水開発）では、山東サッカー部OB会のご理解を得て、社会人リーグにおいて「JGD山東クラブ」をご一緒に結成させていただき、会社としても強力にサポートしております。今後ともサッカー部OB会の皆様のご支援をお願い申し上げます。

また、現役諸君には、サッカー部が母校における文武両道、質実剛健の模範となる部活動として、一層活躍されることを期待しております。



福島J ヴィレッジ遠征へのOB参加報告

山東69回卒の奥山登啓（たかひら）です。現在は千葉大学に籍を置き、フットサル部に所属しながら生物の研究者を目指して日々研究に励んでおります。卒業後も、第2人が山東サッカー部に在籍していたご縁があり、しばしば練習や合宿に参加させて頂いておりました。兄弟3人にわたり指導賜りましたスタッフの方々、そして物心両面で力強く支えて下さいました後援会の皆様に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、私が山東サッカー部員として最後にピッチに立ったのは高校最後の春の大会、県総体の舞台でした。不運にも試合中に相手選手と交錯し、脛骨骨折の大怪我を負って、そのまま引退を決意しました。あまりの結末に自身の運命を恨み、酷く落ち込んだ当時のことを今でも鮮明に覚えております。しかし、引退してから現在に至るまで、高校3年間のサッカーライフを後悔したことは1度もありません。それほどに山東サッカー部で過ごした日々は毎日が充実しており、自分にとってかけがえのない時間だったのだとしみじみと感じております。そして今回、こうして後援会報の筆を執らせて頂けたことを大変嬉しく思っております。

現役だった頃の記憶をふり返った時、私はふと、3年生として出席した最後の納会でのある一幕を思い出しました。それは、部活動を引退し受験を控える私たちに向けて、顧問の先生から送られた言葉です。「3年生の諸君は、今年で部活動を引退します。しかし、それは部員としての終わりを意味するのではない。新たな船出を意味します。これから諸君は山東サッカー部という大きな船に、OBOGという違う役割のクルーとして乗込むのです」。当時の自分は、この言葉の意味を正しく理解できておらず、せいぜい後援会の皆様から振る舞われた目の前のすき焼きに感謝することぐらいしかできませんでした。歳月が経ち、山東サッカー部のOBクルーとなった今、現役の頃に見ていた山東サッカー部の景色が、氷山の一角であったことに気付かされます。現役生を陰ながら支えて下さる、後援会の方やOBOGの方があってこそその山東サッカー部だということを改めて実感致しました。卒業してから4年が経過した現在でも、同期の仲間たちとは毎年旅行に行き、定期的な連絡を取り合う仲です（写真は同期の仲間と草津温泉に行った時のものです）。山東サッカー部で構築された絆や繋がりは、コロナ禍においても一切欠けることは無く、組織の団結力を身に染みて感じています。

3月末、同期の仲間と後輩OBの計4人で2泊3日の福島J ヴィレッジ遠征に参加させて頂きました。生憎の雨でしたが屋内ピッチも用意されている施設でしたので、選手たちは冬場のトレーニングを遺憾なく発揮し、芝の上でのびのびとプレーしておりました。進学校でありながらこのような素晴らしい環境でサッカーができる後輩たちを見て、OBとして誇らしく感じた次第です。連戦続きのハードスケジュールではありましたが、選手同士で声を掛け合い、励まし合っていた姿は今も昔も変わらず、安心感を覚えました。顧問が「終わりじゃないよ。ランシュに履き替えて走るぞ」と言えば、苦笑いしながらランに向かっていく選手たちの背中が、当時の自分と重なり、どこか懐かしく感じられました。プレーについてアドバイスを求めてくる選手もあり、今後の活躍が期待されます。OBOG一同、健闘をお祈りいたします。

遠征中は、後援会の強化費を利用して我々に御馳走して頂き、夜も山東サッカー部について大いに語り合うことができました。また、練習に参加するとしばしば、強化費を利用して我々学生OBに食事をご馳走して頂いております。近い将来、今度は私が後輩の手助けをするかたちで、恩返しができたらなと思っております。ありがとうございます。

最後に、春から新社会人となる同期や先輩の皆様が、山東サッカー部のクルーとして社会に羽ばたき、新しい環境でご活躍されることを心から願っております。

先の見通しが立ちづらい昨今ではございますが、皆様のご健康と山東サッカー部の益々のご繁栄を心よりお祈りいたします。

奥山 登啓（山東69回）



千葉大フットサル部
(奥山君は後列中央)



2021年山東サッカー部同期と
草津温泉へ。(奥山君は前列左)



右が報告者の奥山君、左が同じく
遠征に参加した馬場くん。

会費・寄付納入者名簿(4年度) (敬称略・単位千円)

Table of members and their fees, organized by age group (山東 45 to 山東 9) and listing names and amounts.

会費寄付金納入方
名称: 山形東高校サッカー部後援会
郵便振込: 02450-1-1960
銀行振込: 山形銀行県庁支店(普)217859
皆様の会費・寄付金は遠征等、現役選手の育成費用として活用させて頂いております。

Table of deceased members (逝去) and their families, listing names, dates of death, and family members.

※会則に定められた会費の金額は次の通り。
第13条 会費「①本会の会員は会費を納入する。ただし学生は免除する。②会費の額は、100円に会員の年齢を乗じて得た額の千円未満の端数を切り捨てた額を年会費とする。」
※20代は2千円、30代は3千円、40代は4千円、50代以上は5千円となる。もちろん、定められた額以上を芳志として出してください。

令和4年度山形東高サッカー部後援会決算書(案)

Income Statement (Income Section) for the proposed 2022 fiscal year, showing budgeted vs actual amounts for items like membership fees and donations.

Income Statement (Expense Section) for the proposed 2022 fiscal year, showing budgeted vs actual amounts for items like printing, postage, and training fees.

令和5年度山形東高サッカー部後援会予算書(案)

Budget Statement (Income Section) for the proposed 2023 fiscal year, showing budgeted amounts for membership fees and donations.

Budget Statement (Expense Section) for the proposed 2023 fiscal year, showing budgeted amounts for printing, postage, and training fees.

音信良通

◇奥山 孝雄 (山東9回) コロナ感染防止は施策より慣れの様子です。大手を振って応援したいものです。

◇安孫子 斎 (山東12回) 8月6日のサッカーフェスティバルの盛会を折ってます。

◇齋藤 哲朗 (山東26回) 令和5年5月にリタイヤです (仕事)。サッカーは現役。

◇磯部 康雄 (山東33回) 炎天下の活動では十分な水分補給を！体調管理に気をつけて頑張ってます！

◇渋谷 雅人 (山東36回) 50歳で早期退職し、全国に広がり続けることも食堂の支援をライフワークとして月の半分は各地を飛び回っています。

◇金野 宏龍 (山東36回) 当時は辛い部活の日々でしたが、今は最高の思い出にしか思えません！東高サッカー部をいつまでも応援していますので頑張ってください！

◇荒木 秀文 (山東37回) 時々、先輩後輩の方々と交友させてもらっています。たまにフットサルすると真剣勝負！それが良いですね。

◇大江 悌 (山東39回) 応援しています。母校勤務で戦々恐々です。

◇岡田 健 (山東45回) 最近全然サッカーができていないので、トレーニングしてから近々サッカーフェスティバルに参加します。

◇宮川 尚久 (山東45回) 神経科学研究から製薬業界に移り1年。前・現職の仕事を繋げられないか夢想中。おっさんサッカー&サイクリングやっています！

◇山川 正浩 (山東45回) 娘が陸上部に入りました。道具を揃える際、ついサッカーブランドを推してしまう父です。

◇今野 学 (山東46回) 中学生の息子が、授業でモンテの応援に行きました。自分が中学生の頃とは環境が変わったなあ、としみじみ感じました。サッカーが本当に身近になりました。

音信良通は、会費の振込用紙に一言添えて頂くか、okabea31@gmail.com までメールでお送りください (お名前と本文のみでも結構です)。皆様の近況や現役選手への叱咤激励の言葉、この会報誌の感想やご要望などお送りください！年々コメント数が減って行って寂しいです！

2022年度入試 サッカー部進学実績 (現浪合わせ)

【国立】

東京大学	文科I類1名
	文科III類1名
東北大学	理学部1名
	工学部2名
山形大学	医学部医学科1名
金沢大学	理工学域1名
	理系一括2名
横浜市立大学	国際商学部1名
慶應大学	商学部1名
東北医科薬科大学	医学科1名
東北学院大学	文学部1名

2023年度年間スケジュール (予定)

- 5月27、28日、6月2、4日 山形県高校総体予選
- 8月5日(土) (予定) サッカーフェスティバル (於：山形東高グラウンド)
- 9月30日、10月1、7、9、14、24日 高校サッカー選手権大会山形県大会
- 12月上旬 現役納会 (於：中島商店)
- 2月2日(金) (予定) 山形東高体育部OB会総会・懇親会 (於：山形ランドホテル)



今回の41号を制作するにあたって気がついたことが2つありました。1つめは、2月2日の体育部OB会が

通常通り開催されないと(二次会という名の新年会の宴も開催されず)、サッカー部OBの皆さんにお会いする機会が減り会費収入がとて減るということです。後援会の会報誌を読み始めて数十年経ちますが、初めて決算の項目をじっくり見てしまいました。赤字になるのではないかとヒヤヒヤしています。これからも現役生の活動を金銭的にサポートしていきたいので、皆様、8月5日(土)のサッカーフェスティバルにも是非ご参加いただき、ついでに会費を納入いただけますと大変嬉しく思います。フェスティバル後にも宴はございますので、涼しくなる時間帯からグラウンドへお集まりいただき、少しサッカー観戦した後に二次会へご参加ください。気づいたこと2つめは、SNSの影響なのか「音信良通」へ近況をお送りくださる方が年々激減しているということ。皆さんお互いに最近の様子をFacebookなどのSNSでご覧になっているからか、わざわざ近況を送らなくても…とお考えのご様子。不思議なのが、コメント投稿は減っていくのに、意外と皆さんこのコーナーを読んでいらつしやるよう、お会いしたときに感想を頂いたりします。私信でも結構ですので、ぜひ近況をお寄せください。コメントをお寄せいただけないと私の同期ばかりが投稿することになってしまいます(今回2巡目に入りました)。(山東45回 岡部 愛)